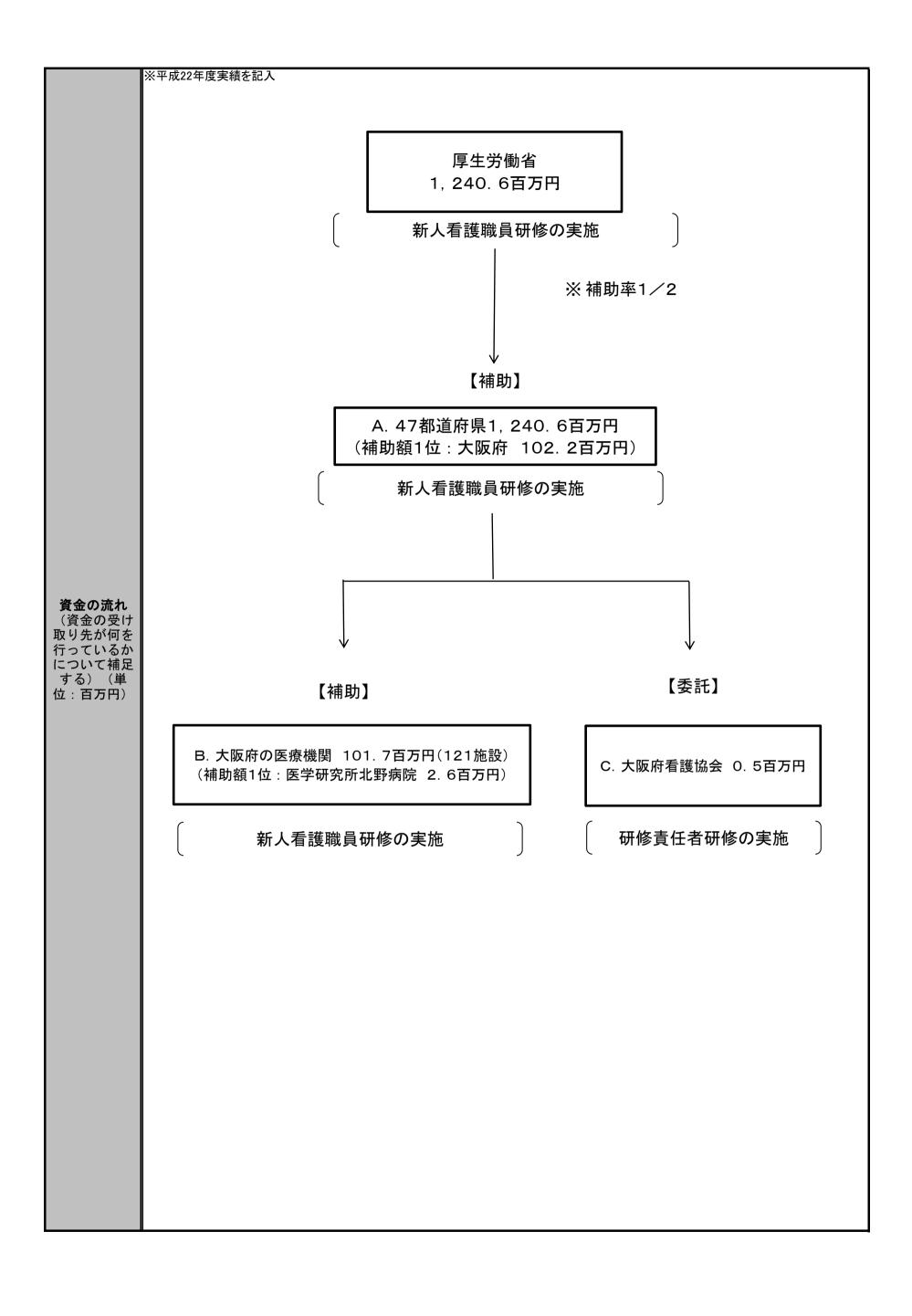
841

					平成 2	2 3 :	年行政	事業	・レ	・ビューシ		- Д	<u>,</u> (厚	生	労働省)
事	業名			新人看護職員	- ,,,		担当部			·	医政局				成責任者
	開始 • F定)年度			平成22年	度~		担当認	果室			看護語	課		課長	:岩澤和子
会記	计区分			一般会	#		施策	名		IV — 1 -	- 1	地域の医	療連携体	制を構	構築する
(具	処法令 体的な も記載)				市法第28条の2		関係する通知	等	The state	業等の実施にな	ついて	.7			員確保対策事
(目排簡潔に		い、ま	た、新人	助産師の実地	こ対し、必要な姿勢 指導者及び新人 護師の資質向上	 手護師	の教育担当	者に対	tL.	卒後教育の考え	え方、ブ				
(5行	業概要 行程度以 引添可)	② ③ アイ 研付 ⑤教育	医療機関係 施設合同新人看護 新人助產 新人助產 香担当者	受入研修事業 司研修事業 職員合同研修 師合同研修		県(間) 牙県 (牙県 (オリカ) は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	接補助先:医補助率)定額 補助率)定額 (補助率)定額(1 3道府県 (補	療機 頁(1/2 頁(1/2 /2相 i助率)	関) 相当 相) 定額	á) á) 項(1/2相当)					
実加	拖方法	口直	接実施	口為	終委託等		■補助			貸付	ロそ	の他			
					20年度		21年度			22年度		23年	年度 24年度		4年度要求
				切予算 /						1,688		1,18	31		
子 伯	算額・	額 状		E予算		_			_						
執	行額		操 走	返し等					_						
(単位	:百万円)	āT		計						1,688		1,181			
		執行額							1,241					_	
		i	執行率	(%)					_	73.5%					- 17 14
	7 4 T T 4 4	成果指標		標			単位	Ż	20年度	2	21年度	22年	度	目標値 (年度)	
成身	目標及び 果実績	別記のとおり				成果実績									
(アワ	トカム)				達成度	%									
				 活動指	票			単位	չ		2	 !1年度	22年	度	23年度活動見込
	旨標及び						75104		+						
	助実績 トプット)	別記	のとおり				活動実績(当初見込								_
							み)						()	()
	z当たり コスト			-			算出根拠								
	耆	目		23年度当初予	算 24年度要求						Eな増	減理由			
平 成	新人看護	職員 矽	修経費	973	0	Γ	医療提供体	制推	進事	事業」に統合					
2 3	新人保健師・新	f人助産	師研修経費	14	0										
2	医療機関受.	入研修	事業経費	28	0										
4	多施設合	同研	修経費	30	0										
度	研修責任	者等码	T修経費	98	0										
年度予算内訳	看護職員研	修推進	事業経費	38	0										
訳															
		計		1,181	0										

		事業所管部局による点検	
	評価	項目	特記事項
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
状• 況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
算の	0	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金	0	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
の	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
使流・	0	受益者との負担関係は妥当であるか。	
費	0	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
目・	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
動実績	_	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
•	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
成果実	_	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
美 績	_	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
		子質監視。効率ルチールの所目	
		予算監視・効率化チームの所見	
おえられる		予算監視・効率化チームの所見 本事業については、平成23年度においても予算の縮減が図られており、事業のの効率化を図るため、執行の弾力化等の見直しを行う必要がある。	必要性も認められるところではあるが、更なる予算
おみ自己書	友本的女善	本事業については、平成23年度においても予算の縮減が図られており、事業の	
打ス自己書	友本內收善	本事業については、平成23年度においても予算の縮減が図られており、事業のの の効率化を図るため、執行の弾力化等の見直しを行う必要がある。	
		本事業については、平成23年度においても予算の縮減が図られており、事業のの の効率化を図るため、執行の弾力化等の見直しを行う必要がある。	さにおける反映状況等)
		本事業については、平成23年度においても予算の縮減が図られており、事業のの効率化を図るため、執行の弾力化等の見直しを行う必要がある。 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求	さにおける反映状況等)
		本事業については、平成23年度においても予算の縮減が図られており、事業の の効率化を図るため、執行の弾力化等の見直しを行う必要がある。 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求 道府県の裁量で事業の重点化を図り、予算の弾力的な執行が可能な仕組みを持	さにおける反映状況等) 生進することにより、更なる予算の効率化を行う。
補助先平成22	である都 2年11月	本事業については、平成23年度においても予算の縮減が図られており、事業のの効率化を図るため、執行の弾力化等の見直しを行う必要がある。 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要対道府県の裁量で事業の重点化を図り、予算の弾力的な執行が可能な仕組みを持 補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場 16日(火)に実施された事業仕分け第3弾において、医師確保、救急・周産期対	さにおける反映状況等) 性進することにより、更なる予算の効率化を行う。 合はその結果も記載)
浦助先平成22	である都	本事業については、平成23年度においても予算の縮減が図られており、事業のの効率化を図るため、執行の弾力化等の見直しを行う必要がある。 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要対道府県の裁量で事業の重点化を図り、予算の弾力的な執行が可能な仕組みを持 補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場 16日(火)に実施された事業仕分け第3弾において、医師確保、救急・周産期対	さにおける反映状況等) 性進することにより、更なる予算の効率化を行う。 合はその結果も記載)
浦助先平成22	である都 2年11月	本事業については、平成23年度においても予算の縮減が図られており、事業のの効率化を図るため、執行の弾力化等の見直しを行う必要がある。 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要対道府県の裁量で事業の重点化を図り、予算の弾力的な執行が可能な仕組みを持 補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場 16日(火)に実施された事業仕分け第3弾において、医師確保、救急・周産期対	さにおける反映状況等) 性進することにより、更なる予算の効率化を行う。 合はその結果も記載)
浦助先	である都 2年11月	本事業については、平成23年度においても予算の縮減が図られており、事業のの効率化を図るため、執行の弾力化等の見直しを行う必要がある。 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要対道府県の裁量で事業の重点化を図り、予算の弾力的な執行が可能な仕組みを持 補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場 16日(火)に実施された事業仕分け第3弾において、医師確保、救急・周産期対	さにおける反映状況等) 性進することにより、更なる予算の効率化を行う。 合はその結果も記載)



A.大阪府 E. 金 額 金 額 費目 費目 使 途 使 途 (百万円) (百万円) 新人看護職員研修を実施する医療機 補助金 101.7 関への補助 大阪府看護協会へ委託 委託料 0.5 (研修責任者研修の実施) 計 計 0 102.2 B.医学研究所北野病院 F. 金 額 金 額 使 途 費目 使 途 費目 (百万円) (百万円) 人件費 研修責任者、教育担当者経費 2.6 需用費 消耗品費、印刷製本費等 0.0 その他 外部講師謝金、旅費 0.0 費目•使途 (「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 金額が支出され ている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載) 0 計 2.6 計 C.大阪府看護協会 G. 金 額 金 額 使 途 使 途 費目 費目 (百万円) (百万円) 研修にかかる経費(謝金、旅費、消耗 その他 0.5 品費、会場借料等) 0 計 0.5 計 D. H. 金 額 金 額 費目 使 途 費目 使 途 (百万円) (百万円) 0 0 計

支出先上位10者リスト A.

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大阪府	新人看護職員研修を実施する医療機関への補助、研修責任者研修	102.2		
2	東京都	新人看護職員研修を実施する医療機関への補助、研修責任者研修等	87.3		
3	北海道	新人看護職員研修を実施する医療機関への補助、研修責任者研修	81.7		
4	福岡県	新人看護職員研修を実施する医療機関への補助、研修責任者研修	75.8		
5	兵庫県	新人看護職員研修を実施する医療機関への補助、多施設合同研修等	62.4		
6	神奈川県	新人看護職員研修を実施する医療機関への補助	55.2		
7	埼玉県	新人看護職員研修を実施する医療機関への補助、多施設合同研修	51.4		
8	千葉県	新人看護職員研修を実施する医療機関への補助、多施設合同研修等	48.4		
9	愛知県	新人看護職員研修を実施する医療機関への補助	47.8		
10	京都府	新人看護職員研修を実施する医療機関への補助、多施設合同研修等	40.9		

В.

<u> </u>	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	医学研究所北野病院	新人看護職員研修の実施	2.6		
2	大阪市立大学医学部附属病院	同上	2.4		
3	高槻病院	同上	2.0		
4	関西医科大学附属滝井病院	同上	1.9		
4	大阪医科大学附属病院	同上	1.9		
4	関西医科大学附属枚方病院	同上	1.9		
7	大阪市立綜合医療センター	同上	1.8		
8	大阪医療センター	同上	1.8		
9	大阪大学医学部附属病院	同上	1.8		
10	近畿大学医学部付属病院	同上	1.8		

C

C.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大阪府看護協会	研修責任者研修の実施口	0.5		
2					
3					
4					
4					
4				$\Big)$	
7				\setminus	
8				\setminus	
9					
10					

①新人看誰職昌研修事業

□ 村 八 日 i 長 映 貝	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	看護職員の質の向上や離職防止が成果目標で あり、これは定量的な実績として示せるもので	成果実績					
(アワトカム) あり、これは定量的な実績として示せるもの はない。		達成度	%				
	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	研修受講者数	活動実績 (当初見込 み)	人	_	I	集計中 ()	_ ()

②医療機関受入研修事業

→ B D 与 7 * *	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	看護職員の質の向上や離職防止が成果目標であり、これは宝景的な実績として云せるもので	成果実績					
(アウトカム) あり、これは定量的な実績として示せるものではない。		達成度	%				
	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
活動指標及び活動実績(アウトプット)	研修受講者数	活動実績 (当初見込 み)	7	1	ı	集計中 ()	_ ()

③多施設合同研修事業

			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	看護職員の質の向上や離職防止が成果目標であり、これは宝量的な実績としてませるよので	成果実績	人				
	(アウトカム) あり、これは定量的な実績として示せるものではない。		%				
	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
活動指標及び活動実績(アウトプット)	研修受講者数	活動実績 (当初見込 み)	\forall	1		集計中	_

④研修責任者研修事業

	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	看護職員の質の向上や離職防止が成果目標であり、これは定量的な実績として示せるもので	成果実績					
	トカム) あり、これは定量的な実績として示せるものではない。		%				
	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
活動指標及び活動実績(アウトプット)	研修受講者数	活動実績 (当初見込 み)	人	1	1	集計中 ()	_ ()

<u>⑤新人看護職員研修推進事業</u>

*B D 'E 7 **	成果指標 成果目標及び		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
成果実績	看護職員の質の向上や離職防止が成果目標で	成果実績					
	(アウトカム) あり、これは定量的な実績として示せるものではない。		%				
	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
活動指標及び活動実績(アウトプット)	協議会開催回数	活動実績 (当初見込 み)	7	1	ı	集計中 ()	_ ()

①~⑤までの事業

(円/) 算出根拠	算出根拠	算出根拠	(円/)	単位当たり コスト	
-----------	------	------	-------	-----------	--